

早稲田大学 人間科学部 化学 講評

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	理論化学 無機化学	小問の集合といったところであろうか。日頃の演習が十分にできていれば、“初めてみる問題”はないはずである。特に、問1の中和滴定の問題は、“食酢の濃度の範囲”が分かっていたら、計算は不必要な問題であったのではなかろうか。	標準
2	理論化学 無機化学	大問1と同様である。問5の“宇宙を構成する元素”については、センター試験の過去問に類似の問題があったはずである。問6から問8の電池関係の出題も、特別に難しい問題はないはずである。	標準
3	理論化学 有機化学	有機化合物の構造決定に関する出題である。特別な知識はいらず、また、従来のような“化合物の立体構造”に関する出題ではないため、解答しやすかったのではなかろうか。	標準
4	有機化学	問13のように“ルミノール”という物質名に圧倒されてしまう受験生はいなかったと思う。教科書や資料集などを読んでいれば、難しい問題ではない。他の問題についても、日頃の復習と演習が十分にできてれば、難なく解答できた問題ではなかろうか。	標準
5	理論化学 無機化学	問20に圧倒されてしまった解答者はいないと思うが、問題をよく読めば解答はできたはずである。他の問題もよくある問題である。	標準

〔総合コメント〕

問題数は例年通りで、解答時間は十分であったであろう。時間がかかるような特別難しい問題はなく、難易度は少々易化傾向と判断する。解答時間が不足した解答者は、解答できなかった問題を見直すことを勧める。